

株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
基準日	毎年6月30日
中間配当を行う場合の基準日	毎年12月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。
住所変更等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため、特別口座を開設 されました株主様は、特別口座の口座管理機関である 三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
未払配当金の 支払について	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることが できない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載 サイトアドレス	<a href="http://www.garage.co.jp/ja/ir/public_notice/">http://www.garage.co.jp/ja/ir/public_notice/</a>
上場取引所	東京証券取引所 JASDAQ市場
銘柄コード	4819



株式会社デジタルガレージ

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南三丁目5番7号  
【お問い合わせ先】 ☎03-6367-1111 ✉ dg4819.ir@garage.co.jp

ホームページのご案内

当社ホームページではIR情報のほか、デジタルガレージグループに関する情報をリアルタイムで紹介しております。ぜひご覧ください。



当社Webサイト  
<http://www.garage.co.jp/ja/>



当社Webサイト IRページ  
<http://garage.co.jp/ir/>



# Lean Global

*East Meets West*

Tokyo  
Rainbow Bridge

San Francisco  
Golden Gate Bridge

# 2013.6期 DG中期3カ年計画の始動

～ Lean Globalの実践と戦略的資本業務提携 ～

デジタルガレージ(DG)の2013.6期は、連結売上高27,964百万円(前期比87.6%増収)、経常利益3,078百万円(前期比13.7%増益)と3期連続の増収増益かつ過去最高経常利益を更新致しました。DGのビジネスモデルの特徴である、インターネットの事業化に必須の機能であるマーケティングとペイメントを収益基盤としながら、あらたなインターネット事業を創造する「インキュベーション・エコシステム」がよりグローバルに機能し始めたものと評価しております。



代表取締役/グループCEO  
林 郁

DGグループは、中期3カ年計画の初年度として、コーポレートスローガン「Lean Global」(Lean:無駄のない、Global:地球規模)の元、3つの事業セグメントにおいてLean Globalを実践してまいりました。

[2013.6期の経営成績]

(単位:百万円)	2012.6期	2013.6期	前年同期比
売上高	14,903	27,964	87.6%
インキュベーション	2,610	2,509	-3.9%
マーケティング	8,558	11,043	29.0%
ペイメント	3,734	14,412	286.0%
営業利益	1,621	1,322	-18.4%
インキュベーション	1,632	290	-82.2%
マーケティング	511	472	-7.6%
ペイメント	549	1,303	137.3%
経常利益	2,708	3,078	13.7%
当期純利益	2,106	2,715	28.9%
EBITDA	2,967	5,900	98.9%

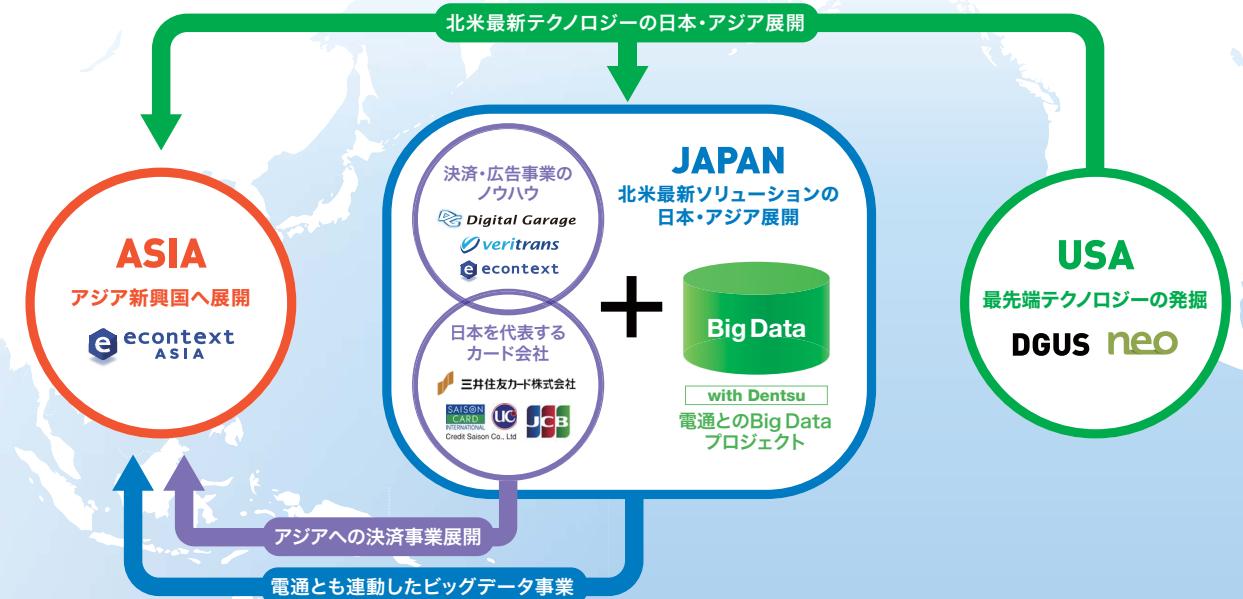
note:セグメント営業利益は、消去又は全社費用控除前ベース。EBITDAは、税引前当期純利益に支払利息、減価償却費及びのれん償却費を加算して算出。

## 国内大手カード会社との戦略的業務提携と(株)電通との資本業務提携

ペイメント事業を統括する中間持株会社「econtext Asia Limited」(以下「econtext ASIA」)を香港に設立し、同社は、国内クレジットカード会社3社(三井住友カード、クレディセゾン、JCB)と資本業務提携を行いました。提携の背景として、①国内クレジットカード会社とDGグループが培ってきた高品質の決済ソリューションを成長著しいアジア諸国で展開する、②DGが有する北米を中心とするグローバル・ネットワークを活用して発掘した、最先端の決済ソリューションやテクノロジーを日本はもとよりグローバルに展開することです。一方で、マーケティング事業においては、国内広告最大手企業の(株)電通と資本業務提携を行

いました。この提携により、(株)電通の保有する膨大なビジネスインテリジェンスとDGグループのインターネット・メディア・データ及び決済データを融合した日本でも有数のビッグデータ・ビジネスを展開する布石となりました。今後、両社において、ビッグデータを活用した新たなオーディエンスデータ事業を戦略事業として展開してまいります。DGは、今後も「世の中の役に立つ事業を創造するコンテキスト・カンパニー」として社会に貢献してまいります。株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

### DGグループ主導で、米国+日本+アジアを横断したプロジェクトを本格始動



# Incubation Segment

## 発掘・投資から開発・事業支援まで、投資先/新規事業の成長フェーズに合わせたグローバルな育成スキームにより投資収益の最大化を狙う

インキュベーション事業におきましては、国内外のベンチャー企業への投資・育成及び投資先企業のサービスのローカライズ及びインターネット・システム開発などを行っています。

### DGインキュベーションの主な投資先

**国内** 株式会社メディアドゥ



電子書籍流通として、あらゆる会社の電子書籍展開をサポート。LINEマンガにコンテンツ提供開始。

**海外** Kiip, Inc.



スマホアプリ向け広告プラットフォームを開発・運営。米国では既に有力アプリ中心に約600本に広告配信中。「Yahoo! JAPANアプリ」のプロモーションに導入も。

### neo [Neo Innovation, Inc.]とは

2011年12月に米国サンフランシスコに設立され、アジャイル・ソフトウェア開発手法を用いたインターネット・ソフトウェア開発などを行う、デジタルガレージの連結子会社です。現在は、グローバル・ソフトウェア開発とデザイン・カンパニーとして、世界をリードする事業体制を確立し、Start Up企業をはじめ、様々なFortune 500\*にランキングされる大企業の開発も支援、コンサルティング業務を展開しています。



### neoの主なクライアント

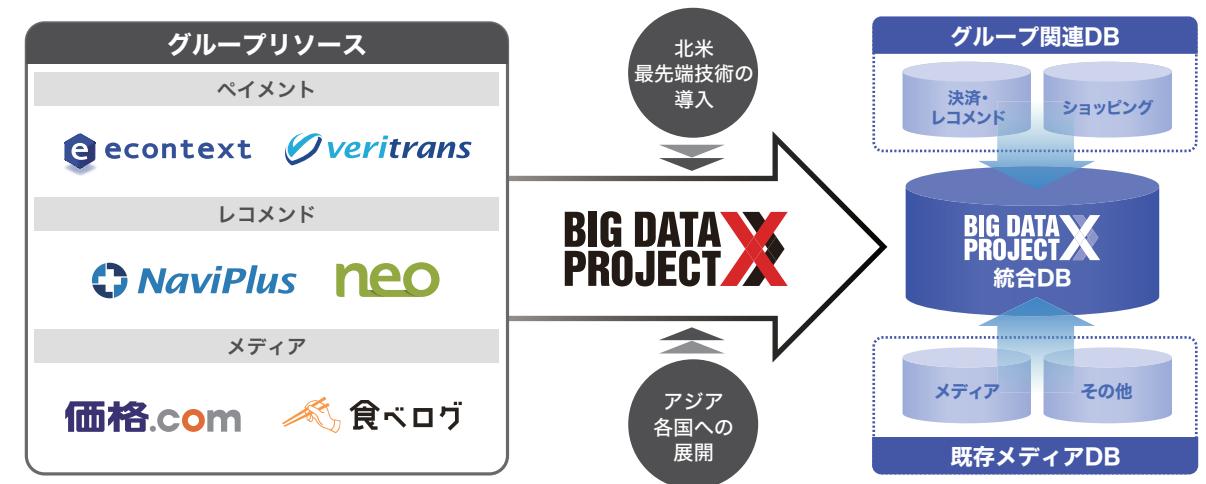
AT&T / HP / Pitney Bowes  
Salesforce / VirtualHR  
Adobe / GE / ICANN  
The Weather Channel  
Yammer / Turnstone  
Standard Chartered

\*Fortune 500 : フィナンシャル・タイムズ・グローバル500。世界の企業の時価総額をランキングしたリストのこと。

# Marketing Segment

## 既存事業の深耕と次世代戦略事業の早期確立を実現

マーケティング事業におきましては、ウェブとリアルを融合した総合プロモーション及びインターネット広告などのウェブマーケティングを行っております。2012年12月には、広告・マーケティング領域のビジネスにおいて長年にわたりリーディング・ポジションの地位にある(株)電通と、第三者割当増資を含む資本業務提携を締結しました。この提携は、両社の知見やノウハウを集結し、最先端のマーケティング・テクノロジーを開発・駆使して、デジタル・マーケティング事業及びビジネス・インテリジェンス事業の拡大を図ることを目指したものです。



### マーケティングセグメントの会社紹介

#### DG&Ibexカンパニー

デジタルガレージ社内カンパニー。O2O (Online to Offline) 戦略、Webマーケティングによるクライアントビジネス支援



#### 株式会社CGMマーケティング

オーディエンスデータを活用したソーシャルメディア時代の広告商品、最先端のweb広告技術の開発と販売



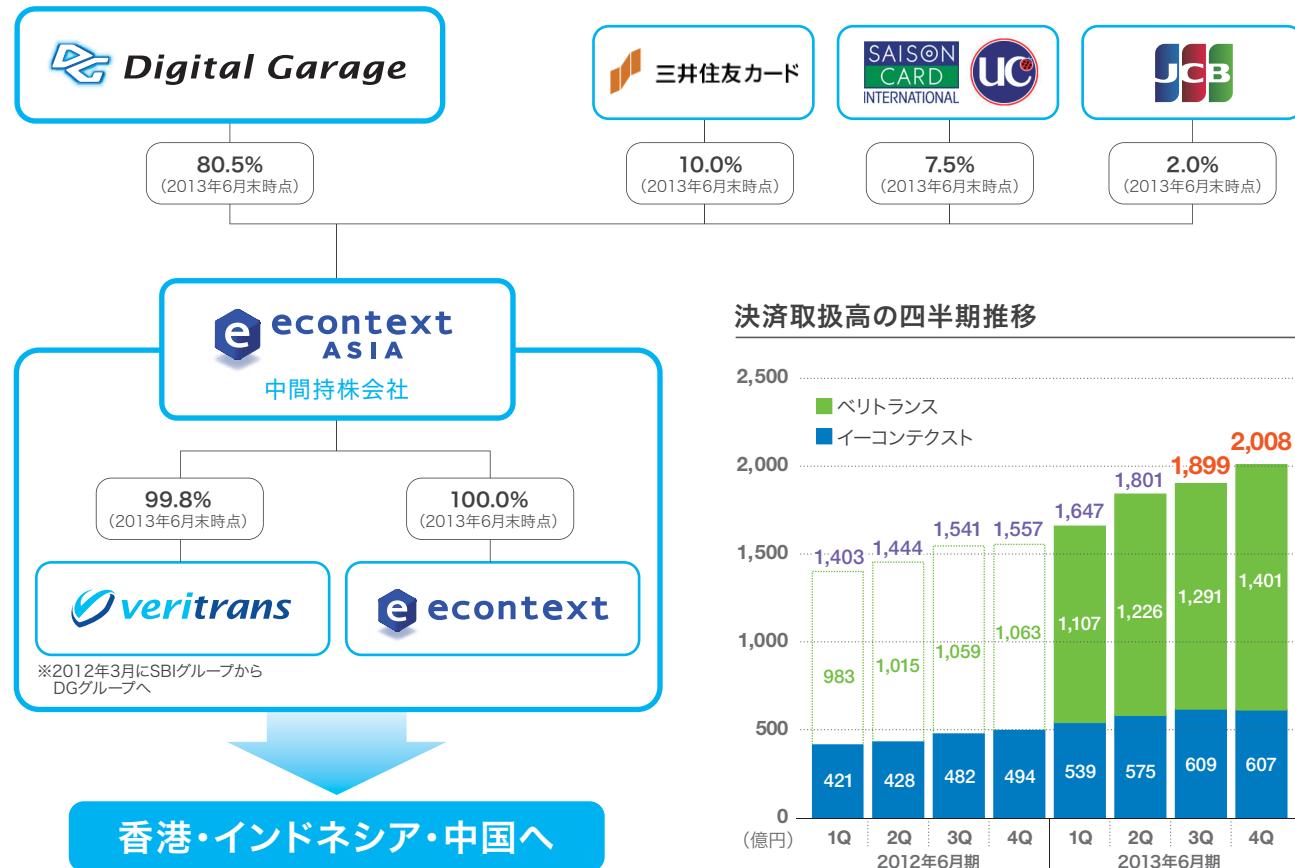
#### ナビプラス株式会社

レコメンドエンジンを主力としたサイト支援ツールの販売等



## カード大手3社との資本業務提携を契機に、さらなる事業拡大へ

ペイメント事業におきましては、Eコマース決済ソリューションの提供を行っております。2012年9月に香港に設立したecontext ASIAを拠点にアジア地域における事業展開にも着手し、まずインドネシアにおいて、インドネシア市場向けにローカライズしたEコマース決済サービスの提供を開始しました。また、econtext ASIAは、2013年2月から4月にかけてカード会社3社と資本業務提携をしており、グループ全体でアジア展開を加速していきます。



## 継続的に機能するグローバルなインキュベーション・エコシステムの構築へ



### Lean Globalの中核となるサンフランシスコのインキュベーションセンターが今秋オープンします。

米国サンフランシスコの中心街に位置する717 Market Streetにあり、インキュベーション事業の拠点として、コワーキング、イベント、ショウケース、オフィスの機能をそれぞれ連携させることで、グローバル・インキュベーション・エコシステム構築を加速していきます。



1 マーケティング事業

電通と最先端科学者のビジネスプロデュース事業を手掛ける合弁会社を設立

DENTSU SCIENCEJAM

2013年8月、当社と(株)電通は「(株)電通サイエンスジャム」を共同で設立しました。新会社は、新たなビジネスにつながる優れた研究成果を上げている科学者・研究者を見出しプロデュースすることで、新事業を創出することを目的としています。第1弾として、米

国でも有望な研究分野として注目を集めている脳サイエンスに焦点を当て、国内外の有力メーカーと協力しながら、最先端の脳波測定/分析の技術を活用したまったく新しい商品やサービスを立ち上げていきます。

2 ペイメント事業

econtext ASIA、子会社のベリトランスを通じてスマートフォン決済サービス「VeriTrans mPOS」の提供を開始



2013年8月12日に発表した「VeriTrans mPOS(ベリトランス エムポス)」は、実店舗を持つ小売り事業者を主な対象とした、専用のスマートフォンアプリとカードリーダーを組み合わせることで、手持ちのスマートフォンを活用して店頭でのクレジットカード決済に対応できる新サービスです。

▶ また、ベリトランスは2013年8月28日に中小EC事業者向けのオンライン決済サービス「VeriTrans Air」の提供を開始しています。

3 インキュベーション事業

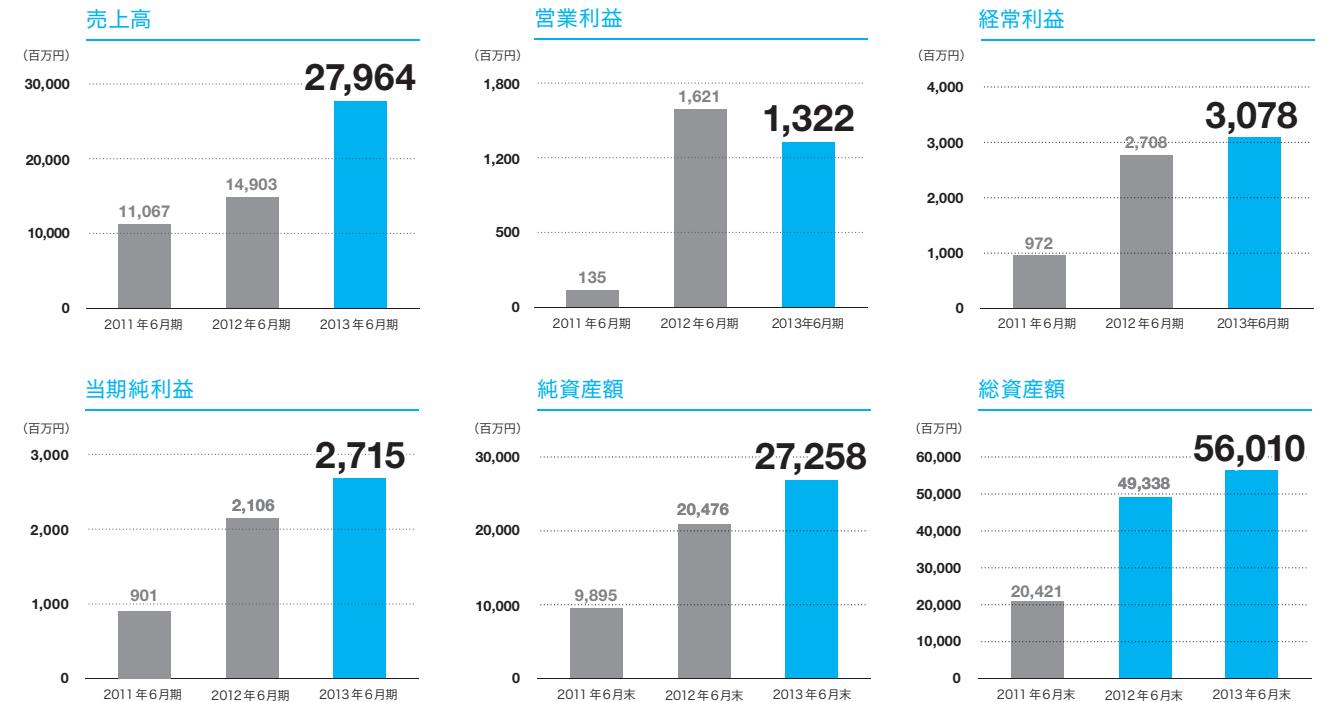
インターネットソフトウェア開発の米国法人 Neo Innovation, Inc.によるM&Aの完了と新体制での事業の本格稼働

Neoは、新体制のマネージメントチームを確立し、さまざまなアジャイル開発を含むスタートアップ企業のCEOやCOOを歴任してきたダニエル リーデルをCEOに迎え、大手クライアントの獲得を多数実現し、さらなる事業拡大を目指します。



Daniel Riedel ダニエル リーデル  
Chief Executive Officer  
Neo Innovation, Inc.

**新CEO** 「最も革新的でグローバルなソフトウェア開発のコンサルティング事業を手がけるNeo Innovationを率いることに、とダニエル リーデルより、でもエキサイティングです。新たな事業年度ではブランドの拡大と商品の展開を通じて、ビジネスの成長を加速します。」



econtext ASIA(香港HQ)に国際会計基準 (IFRS) 導入

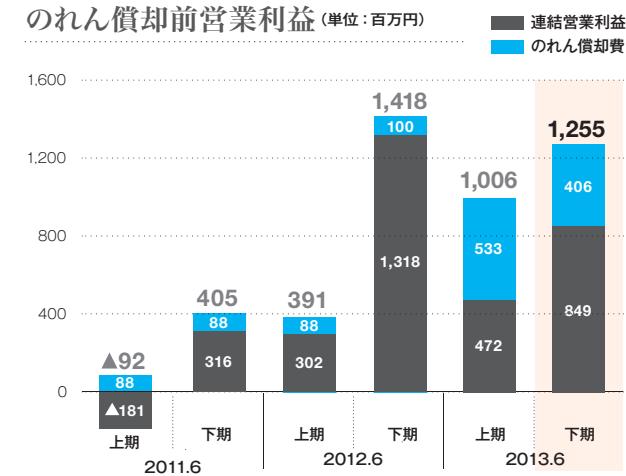
決済子会社の決算期統一/グループ管理強化しアジア展開を加速

ベリトランス及びその連結子会社4社の決算期を3月末から6月末へ変更を行いました。決算期変更会社については本第2四半期に6ヵ月分を仮的に計上致しました。

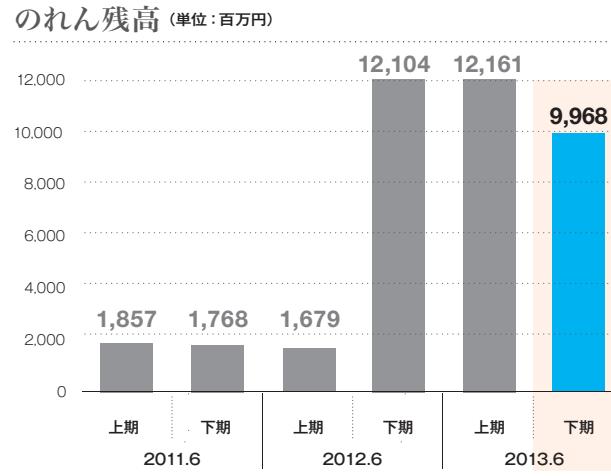


連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)	2012.6月末	2013.6月末	前期末比(金額)	主たる変動要因/備考
流動資産	28,005	33,837	+5,832	
現金	12,308	15,329	+3,021	
未収入金	7,577	9,037	+1,460	→ 決済事業関連項目
金銭の信託	3,404	3,768	+364	
営業投資有価証券	1,904	2,641	+737	
固定資産	21,333	22,173	+840	
有形固定資産	912	2,038	+1,126	→ ベリトランス本社移転による資産取得
投資有価証券	4,299	5,521	+1,222	
投資不動産	2,677	3,102	+425	
のれん	12,104	9,968	-2,136	
資産合計	49,338	56,010	+6,672	
流動負債	28,505	21,801	-6,704	→ 流動比率 98% (12/6) → 155% (13/6)
預り金	14,956	18,229	+3,273	→ 決済事業関連項目
有利子負債	10,740	305	-10,435	→ 有利子負債38億円減少
固定負債	355	6,950	+6,595	
有利子負債	183	6,799	+6,616	
負債合計	28,861	28,752	-109	
純資産	20,476	27,258	+6,782	→ 自己資本比率 41% (12/6) → 46% (13/6)
資本金	6,017	7,330	+1,313	
資本剰余金	9,703	11,016	+1,313	→ 電通 第三者割当増資
利益剰余金	4,505	7,003	+2,498	
少数株主持分	174	1,468	+1,294	→ ecntext ASIA社へのカード会社出資
負債・純資産合計	49,338	56,010	+6,672	



2013.6期ののれん償却前営業利益は、2,261百万円と前年同期比25%増と増益を達成しました。



2013.6期末ののれん残高は、ecntext ASIAへのカード会社からの出資を受け減少しました。

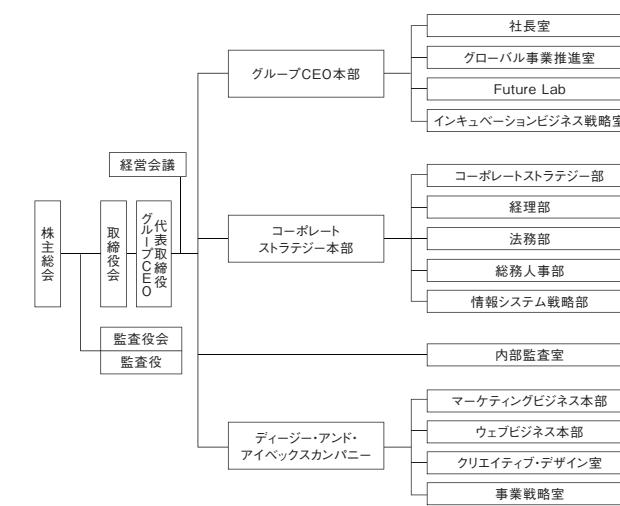
会社概要(平成25年6月30日現在)

商号 株式会社デジタルガレージ  
 設立 平成7年(1995年)8月17日  
 従業員 (単体) 226名  
 (連結) 463名

役員(平成25年9月26日現在)

代表取締役 グループCEO	林 郁	取締役	伊藤 穰一
取締役	六彌太 恭行	取締役	藤原 謙次
取締役	岩井 直彦	取締役	岡本 晋
取締役	曾田 誠	常勤監査役	牛久 等
取締役	踊 契三	監査役	坂井 眞
取締役	田中 将志	監査役	井上 準二
取締役	岡田 ジョーイ	監査役	牧野 宏司

組織図(平成25年7月1日現在)



株式情報(平成25年6月30日現在)

発行可能株式総数 600,000株  
 発行済株式総数 235,596株  
 議決権総数 234,312個  
 株主数 10,127名

大株主(平成25年6月30日現在)

株主名	当社への出資状況 持株数(株) 持株比率(%)
林 郁	33,772 14.41%
㈱電通	16,500 7.04%
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱(信託口)	11,496 4.91%
バンク オブ ニューヨーク ヨーロッパ リミテッド	13,1705 4.66%
エムエルアイイーエフジー ノントリーティ カストディー アカウント	8,425 3.60%
TIS㈱	7,419 3.17%
日本マスタートラスト信託銀行㈱(信託口)	6,321 2.70%
資産管理サービス信託銀行㈱(証券投資信託口)	4,948 2.11%
バンク オブ ニューヨーク シーシーエム クライアント アカウント ジェイビーアールデイ アイエスジー エフイーエイシー	3,996 1.71%
バンク オブ ニューヨーク オーズイー マスター ファンド エルティティ	3,435 1.47%

※持株比率は自己株式(1,284株)を控除して計算しております。

株式分布状況(平成25年6月30日現在)

